

【平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果】 本校の子どもの「学力」と「学習意欲等」について ～結果の全体概要～

1. 全国学力・学習状況調査の目的

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

※なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに十分に配慮することが必要である。

～文部科学省 平成30年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領より～

2. 児童に対する質問紙調査結果から

学習面や生活面等について

全国と比べて差異が見られる主な質問項目について

(□…全国より肯定的な回答が多い ■…全国より肯定的な回答が少ないもの)

□「毎日同じくらいの時刻に寝ている」

□「毎日同じくらいの時刻に起きている」

■「朝食を毎日食べている」

■「放課後、テレビやゲーム（携帯・スマホのゲームを含む）をする時間」

→正しい生活リズムで過ごすことを意識しているものの、放課後の時間の使い方については、『自分がやるべきこと』を優先に考えて過ごしていく必要があります。生活リズムチェックシートもぜひ、活用してください。

□「学校の授業時間以外で、1日1時間以上読書をする」

□「家で、計画を立てて勉強している」

■「家で、学校の授業の予習・復習をしている」

■「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずいろいろな方法を考える」

→家で、自分で計画を立てて学習している・だいたいしている子が少しずつ増えています。読書についても、学校だけでなく家庭でも読書の習慣ができていることは、素晴らしいことです。家庭での学習の仕方については、担任から助言をするとともに、「家庭学習のススメ」の活用も促していきたいと思います。また、日常から学習のめあてやねらいを意識して取り組み、学習したことを振り返る活動を大切にするなど、学びに向かう姿勢を育てることに力を入れていきたいと考えています。

【国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均に比べ、下回っている。

「書くこと」

◇全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「読むこと」

◆全国平均に比べ、下回っている。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◆全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均に比べ、下回っている。

「書くこと」

◆全国平均に比べ、下回っている。

「読むこと」

◆全国平均に比べ、下回っている。

今回の調査における課題

「話すこと・聞くこと」

●相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。(問題 A)

●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめて話すこと。(問題 B)

「書くこと」

●目的に応じて必要な情報を捉えること。(問題 A)

●目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えること。(問題 B)

「読むこと」

●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。(問題 B)

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。(問題 A)

改善の方向

「話すこと・聞くこと」に
関わって

○考えを述べるとき、どこが共通するのか、どのような点が違うのか、具体例を入れるなどして、まとまりある話ができるように指導していく。

○互いの考えを基にして、考えを広げたりまとめたりすることができるような話し合い活動を充実させる。

「書くこと」に関わって

○複数の資料や情報から、目的や意図にふさわしい内容を取り上げて書く活動を充実させる。

○具体例を挙げて自分の意見を具体化したり、事実と感想、意見とを区別して書いたりする活動を充実させる。

「読むこと」に関わって

○文章中の叙述と自分の知識や経験などと関連づけたりしながら読む活動を充実させる。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関わって

○国語辞典や漢字辞典を日常的に使い、各教科や日常生活で使用する文や文章で適切に使うことができるようにする。

【算数】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」

- ◆全国平均と比べ、下回っている。

「量と測定」

- ◆全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「図形」

- ◆全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「数量関係」

- ◆全国平均と比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」

- ◆全国平均と比べ、下回っている。

「量と測定」

- ◆全国平均と比べ、下回っている。

「図形」

- ◆全国平均と比べ、下回っている。

「数量関係」

- ◆全国平均と比べ、下回っている。

今回の調査における課題

「数と計算」に関わって

- 乗数や除数が小数である場合の除法の意味について理解すること。

例) $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ。

例) 針金 1 m の重さを求める式を選ぶ。

「量と測定」に関わって

- 分度器等の用具を用いたり、角の大きさを回転の大きさと捉えたりして角の大きさを求めること。

例) 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求める。

「図形」に関わって

- 図形を見いだす際に、図形の構成要素や性質を基に観察したり、判断したり、説明したりすること。

「数量関係」に関わって

- 数量の関係を発展的に考察し、数学的に表現すること。

改善の方向

「数と計算」に関わって

- 図や数直線等を活用して、問題の意味を考えて解く活動を充実させる。

「量と測定」に関わって

- 分度器を用いて、角の大きさを正確に測定したり、測定の結果の見当を付けて測定し、測定の結果を確かめたりする活動を充実させる。

「図形」に関わって

- 図形の性質を基に、課題を理論立てて説明できるようにする活動を充実させる。

例) 正多角形の内角や外角の大きさ等について、敷き詰め等の活動を通して性質を見いだす。

「数量関係」に関わって

- 考察したことを図や式、言葉で表現する学習活動を充実させる。

例) 様々な三角形の角の和を調べる活動を通して、三角形の三つの角の大きさが 180° になることを、式や図を用いて表現する。

【理科】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「物質」

◇全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「エネルギー」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「生命」

◆全国平均と比べ、下回っている。

「地球」

◆全国平均と比べ、下回っている。

今回の調査における課題

「物質」に関わって

●実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること。

例) 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書く。

「エネルギー」に関わって

●乾電池のつなぎ方を変えると電流の無機が変わることを実際の回路に適用して考えること。

「生命」に関わって

●調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析すること。

例) 鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ。

「地球」に関わって

●堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること。

●土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること。

改善の方向

「物質」に関わって

○課題解決のための実験において、事象をじっくり観察したり、予想や考察を実験から得た数値と結び付けながら考えたりするなどの活動を充実させる。

「エネルギー」に関わって

○学習を通して明らかになった性質や働きを活用したもののづくりを行い、つくったものが目的に合ったものになっているか振り返るなど、必要に応じて工夫・改善できるように指導していく。

「生命」に関わって

○調べた生物の成長の様子や体のつくりについて差異点や共通点を見だし、分析できるようにする指導を充実させる。

「地球」に関わって

○自然の事物・現象を科学的な言葉で説明する活動を充実させる。

例) 『土地のつくり』であれば、「浸食」「運搬」「堆積」など。